

改修仕様

通常目地タイル浮きステンレスピンニング注入工法

施工部位 : タイルの浮き部分 (通常目地のタイル)

適用範囲 : タイルの浮き部分で、タイルを撤去貼り替えせずに、将来的な剥落を防止する場合に適用する。

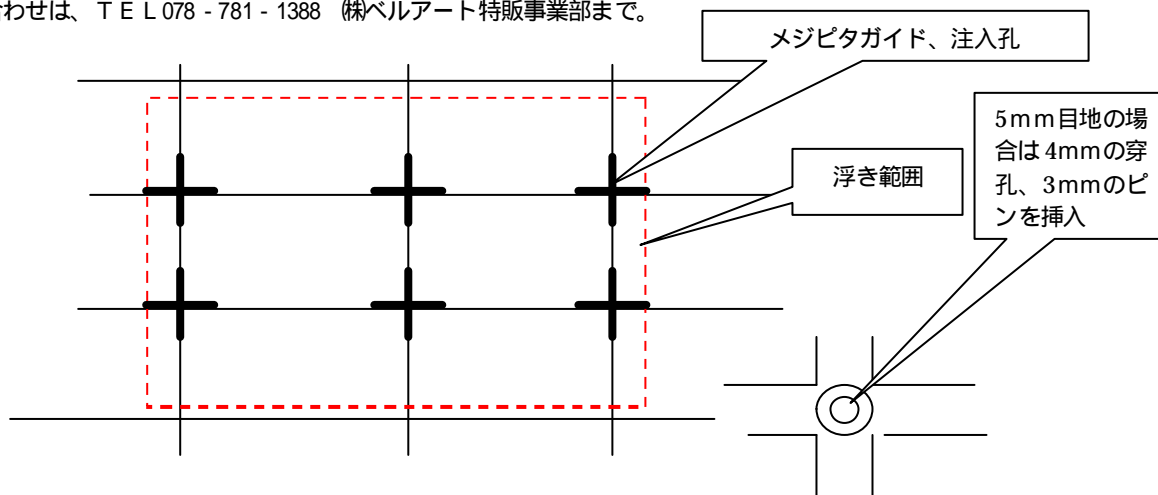
施工工程 :

1. 浮き範囲の調査 マーキング
打診点検用ハンマーで調査し、タイルの浮き範囲を確認し、糊の残らないテープにて、マーキングを行う。
2. ピンニング位置の決定
タイルの大きさ・眼地パターンに合わせてステンレスピンニングの穿孔(せんこう)の位置を決定し、糊の残らないテープにて、穿孔予定部分にマーキングを行う。
3. 注入孔の穿孔
穿孔に先立ち、穿孔(せんこう)予定部分の下部分も養生テープ等にて先行養生を行う。
穿孔は、目地巾に合わせた『メジピタガイド』を目地部にあてがい、目地中央部に確実に穿孔し、電動ドリルで躯体コンクリート中 30mm 以上行う。
5mm 目地の場合は 4mm の錐を使用する事。
4. 孔内の清掃
孔内の切粉をブラシ・圧縮空気等で除去する。(スーパードリルを使用の場合は本工程は省く)
5. 注入用エポキシ樹脂の計量及び混練り
注入用のエポキシ樹脂の主剤と硬化剤をメーカーの規定量通り正確に計量し、均一になるまで十分混練りする。
6. 注入用のエポキシ樹脂の注入
孔内にグリスポンプでエポキシ樹脂を 2.5 cc 程度注入する。
7. ステンレスピンの挿入
孔内にネジ切りステンレスピン (SUS304) を挿入しウエス等にて穴を塞ぐ。
タイル目地に 4mm の穿孔をした場合は、3mm のピンを使用する。
8. 養生
24 時間以上、注入したエポキシ樹脂の硬化養生を行う。エポキシ樹脂硬化後、ウエスを除去し、エポキシパテ、目地セメント等にて穿孔部を補修する。
9. 清掃
養生テープ等をはがし、周囲の入念な清掃を行う。

作業に先立ち、タイルの浮き上がり、下地の二重浮き等を調査する為、試験施工を必ず行う事。

『注入メジピタガイド』は実用新案製品です (+ 型、T 型、I 型)。

問い合わせは、TEL 078 - 781 - 1388 (株)ベルアート特販事業部まで。



改修仕様

深目地タイル浮きステンレスピンニング注入工法

施工部位 : タイルの浮き部分 (深目地タイル)

適用範囲 : タイルの浮き部分で、タイルを撤去貼り替えせずに、将来的な剥落を防止する場合に適用する。

施工工程 :

1. 浮き範囲の調査 マーキング
打診点検用ハンマーで調査し、タイルの浮き範囲を確認し、糊の残らないテープにて、マーキングを行う。
2. ピンニング位置の決定
浮いているタイルの表面中央部にステンレスピンニングの穿孔の位置を決定し、糊の残らないテープにて、穿孔予定部分にマーキングを行う。
3. 注入孔の穿孔
穿孔に先立ち、穿孔予定部分の下部分も養生テープ等にて先行養生を行う。
穿孔は、スーパードリルを使用し、目地中央部に確実に穿孔し、タイルの厚み + 躯体コンクリート中 30mm 以上行う。
4. 孔内の清掃
スーパードリルを使用するので、本工程は省く。
5. 注入用エポキシ樹脂の計量及び混練り
注入用のエポキシ樹脂の主剤と硬化剤をメーカーの規定量通り正確に計量し、均一になるまで十分混練りする。
6. 注入用のエポキシ樹脂の注入
孔内にグリスポンプでエポキシ樹脂を 2.5cc 程度注入する。
7. ステンレスピンの挿入
孔内にカラーキャップ付きネジ切りステンレスピン(SUS304)を挿入し余分な樹脂を拭き取り、養生テープを除去する。
8. 養生
24 時間以上、注入したエポキシ樹脂の硬化養生を行う。
9. 清掃
周囲の入念な清掃を行う。
作業に先立ち、タイルの浮き上がり、下地の二重浮き等を調査する為、試験施工を必ず行う事。

